

ハートフルなんぶ

2021. 8月号 vol. 274



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

夏期学習室のご利用について

夏休み期間中は平日も2階大会議室を学習室として利用できる日があります。

学習室利用時間

午前 10 時～午後 5 時 30 分まで(時間厳守)

※蓋つきの飲み物以外の飲食を禁じます。

(昼食スペースはありません)

※マスクの着用、手洗い、消毒等、感染予防にご協力ください。

※学習室をご利用いただける日は変更となる場合があります。ホームページ、館内表示にてご確認ください。



南部図書館 8 月学習室開放日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×		休館日				開放
8	9	10	11	12	13	14
開放	開放	休館日	開放	開放	開放	開放
15	16	17	18	19	20	21
開放	開放	休館日	開放	開放	開放	開放
22	23	24	25	26	27	28
開放		休館日		開放	開放	開放
29	30	31				
開放	休館日	休館日				

『童謡の時代背景』

3年前の2018年は童謡誕生百年ということを知り、この年に童謡の歴史について調べたことがありますが、いろいろと知らなかったことがあり驚きました。

まず童謡とは、それまでの学校唱歌(文化省唱歌)に対する批判として、鈴木三重吉が子どもにもっと芸術的なものを与えたくて作ったこと。そして初期の童謡は詞のみで曲はついてなくて、北原白秋は曲をつけることに反対だったのです。

また、第二次大戦前と戦後では、歌詞に変更があったり、削られたりすることがありました。今は廃線となった長野電鉄屋代線の旧松代駅舎には『汽車ポッポ』の歌詞の石碑が建っています。これは作曲家が長野市出身の草川信で、両親が松代出身なのでこの地に建てられました。しかしこの歌は、最初は『兵隊さんの汽車』というタイトルで、戦地に兵を送る歌でした。「ぼくらをのせて…」は「兵隊さんをのせて…」、「走れ走れ走れ…」は「バンザイ、バンザイ、バンザイ…」だったのです。(作詞・富田薫)

松代出身の海沼実が『あの子はたあれ』を作曲していますが、これも初めは『泣く子はたあれ』でした。しかし戦争が近づく昭和16年、「泣く子」という暗い弱々しい詞では、庶民の意気を上げようとする国から注意されるだろうとの配慮で、レコードでは「あの子」となりました。(作詞・細川雄太郎)

「夏がくれば思い出す、はるかな尾瀬…」と歌い出す『夏の思い出』は、作詞した江間章子が戦争中に疎開していた尾瀬の印象を歌詞にしました。

このような童謡にまつわる話は『唱歌・童謡120の真実』を読んで初めて知りました。唱歌・童謡の歌詞というと、戦後のフォークソングや歌謡曲と比べれば、メッセージ性のあまりない、美しく無邪気な内容に思えますが、実は作られた時代の状況が影響していることが、この本を読んでみてわかりました。

昔歌った唱歌・童謡をなつかしむ方は多いと思いますが、終戦記念日のある夏には、こうした本を読んで理解を深めてみたらいかがかと思います。

参考文献 『唱歌・童謡120の真実』 竹内貴久雄

『童謡の百年』 井手口彰典

寄稿:ひよこ豆

今月の 新刊案内



- 『烏百花 白百合の章』阿部 智里／著 文藝春秋 <F ア>
 『曲亭の家』西條 奈加／[著] 角川春樹事務所 <F サ>
 『己丑の大火』佐伯 泰英／著 文藝春秋 <F サ>
 『沈黙の終わり 上・下』堂場 瞬一／[著] 角川春樹事務所 <F ト>
 『臨床の砦』夏川 草介／著 小学館 <F ナ>
 『小説8050』林 真理子／著 新潮社 <F ハ>
 『東京ディストピア日記』桜庭 一樹／著 河出書房新社 <916サ>
 『ミカンの味』チョ ナムジュ／著 朝日新聞出版 <929 チ>
 『雨でも晴れでも「繊細さん」』武田 友紀／著 幻冬舎 <146 タ>
 『わたしは銭湯ペンキ絵師』田中 みずき／著 秀明大学出版会 <289.1 タ>
 『老いの福袋』樋口 恵子／著 中央公論新社 <367 ヒ>
 『非正規介護職員ヨボヨボ日記』真山 剛／著 三五館シンシャ <369 マ>
 『ワタナベマキの梅料理』ワタナベ マキ／著 NHK 出版 <596 ワ>
 『10年かかって地味ごはん。』和田 明日香／著 主婦の友社 <596 ワ>
 『コップひとつから始めるゆる～い野菜づくり』やさい畑編集部／編 家の光協会 <626 コ>
 『浮世絵動物園』太田記念美術館／監修 小学館 <721 ウ>
 『0歳からはじめる子育ての英語』酒井 文秀／著 ベレ出版 <837 サ>
 『10代からのSDGs』原 佐知子／著 大月書店 <Y333 ハ>

8月のテーマ 「平和」



- 『広島・長崎から』関 千枝子／著 彩流社 <289.1セ>
 『わたしはマララ』マララ・ユスフザイ／著 学研パブリッシング <289.2ユ>
 『日本人のための平和論』ヨハン・ガルトゥング／著 ダイヤモンド社 <319カ>
 『我が家に来た脱走兵』小山 帥人／著 東方出版 <319コ>
 『戦争と平和を考えるNHKドキュメンタリー』日本平和学会／編 法律文化社 <319セ>
 『旅する平和学』前田 朗／著 彩流社 <319マ>
 『わたしの<平和と戦争>』広岩 近広／編 集英社 <319ワ>
 『「国際協力」をやってみませんか?』山本 敏晴／著 小学館 <333ヤ>
 『誰も知らない自衛隊のおしごと』岡田 真理／著 扶桑社 <392オ>
 『温泉の平和と戦争』石川 理夫／著 彩流社 <453イ>
 『強制収容所ゲーゼンの日記』アルド・カルピ／著 創元社 <976カ>
 『十二月八日と八月十五日』半藤 一利／編著 文藝春秋 <B210.7ハ>
 『手記私の戦後50年』信濃毎日新聞社編集部／編 信濃毎日新聞社 <N960シ>
 『わたしの町は戦場になった』ミリアム・ラウィック／著 東京創元社 <Y302ラ>
 『武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』宮田 律／著 平凡社 <Y333ミ>

は休館日です。

開館時間10:00~18:00

南部図書館
開館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
2021年 8月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
2021年 9月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		